



異年齢児交流のはじまり

3歳児うさぎ組

R1、7、31

うさぎ組になり、4カ月。登園してから活動に入るまでの時間、夕方の時間は、ばんび組・きりん組のお友達と一緒に遊んでいます。はじめは一緒に空間にいるということが多く、一緒に何かをして遊ぶという姿はあまり見られることなく、うさぎ組の子ども達は保育者と一緒に遊んだり、同年齢の友達と一緒に遊ぶことが多く見られていました。そんな子ども達にも、年上の友達とかかわりたいという思いはあったのですが、どうかかわっていか分からず、かかわりたいという気持ちが裏目に出て、ちょっかいを出してしまったりする姿もありました。その都度、「一緒に遊びたかったの?」「一緒に“入れて”って言うてみよう」などと声をかけながらかかわり、かかわり方を知らせていく中でのこと。ある日、今まで見られなかった姿が♪

虫見せて!



うん!いいよ!

虫探しに最近夢中になっているNくん。この日も大好きな虫を探して楽しんでいました。すると、ばんび組さんの男子と虫を見せ合っている姿が見られました。同じ遊びを通して、かかわりが見られていることに成長を感じると共に、嬉しさを感じました。またよく見てみると、バケツと小さいザルを使っている姿は、年上の友達が虫を捕まえる時に行っている行動でした。

私たち大人が「こうやって遊ぶんだよ」などと遊び方を知らせなくても、子ども達が自ら年上の友達が遊んでいる姿を見て、「こうしたらもっと楽しいかも!」「やってみよう!」と自分達で考えながら遊びを展開している場面がたくさん見られるようになってきました。

アイス屋さん
でーす♪



年上の友達と一緒に
ごっこ遊び♪

お店屋さん
でーす♪



年上の友達の真似っこ
をして、様々な用具を
使ってごっこ遊びへ♪

園庭から室内に入る時は、年上のお友達が手をひいて、面倒を見てくれています。「一緒に行こう」と声をかけられ、反抗してしまう子もいるのですが(笑)、少しずつ遊びの場面ではかかわる姿が見られていることに、子ども達の気持ちの変化や心の成長を感じています。また遊びの中でも、挑戦してみようという意欲も見られるようになり、鉄棒やサッカーなどに取り組む姿が見られています。

遊びを通して、言葉で伝え合ったり、身近なものや自然物の不思議さや面白さに気付いたり、興味が広がったり、毎日たくさんの学びがあります。そこには人とかかわりがあり、様々な人とかかわりが、人間関係を築いていく上での基礎となって、成長していくのだと感じています。そこに携わる私たちは、子どもの様子を見守り、遊びの仲立ちをしていければと思っています。